



日本の野鳥カレンダー2026

撮影者コメント

撮影者のコメントや撮影エピソードを掲載しています。カレンダー写真と一緒に楽しみください。



表紙

大雪が降った翌日の夕方、4時を過ぎた頃にオオコノハズクに出会った。チャンスとばかり撮影したが目を閉じていてほとんど動きがなかった。時々薄目を開けた時はいつまでも遠くを見つめていた。このあと狩りに飛び立ったのはかなり暗くなってからだった。

撮 影 * 吉田 幸弘

撮影場所 * 北海道 函館市

オオコノハズク
学名: *Otus semitorques*
英名: Japanese scops owl



1月

この年は、秋樹木の実が豊作でした。ニシキギも今までになく多くの実を付けた。シマエナガを長年撮影しているが、そんなニシキギの実に付くシマエナガを見るのは初めての事でした。熟した実を器用に手(足)に取り美味しそうに食べてました。そんな行動は、その後一度も見られていません。

撮 影 * 上戸 鉄雄

撮影場所 * 北海道 札幌市

シマエナガ
学名: *Aegithalos caudatus japonicus*
英名: Long-tailed tit



2月

昨年の春に足底腱膜炎を患い、秋まで歩くのをやめていました。秋から少しずつ歩き始めました。すぐ近くの運動公園までバスで行って、写真を撮っていました。もみじにイカルが数羽来て種を食べていました。小枝が多くて枝かぶりになり、全身の見える写真がなかなか撮れませんでした。やっと一度だけ出てきてくれました。

撮 影 * 岩波 正行

撮影場所 * 京都府 京都市

イカル

学 名: *Eophona personata*
英 名: Japanese Grosbeak



3月

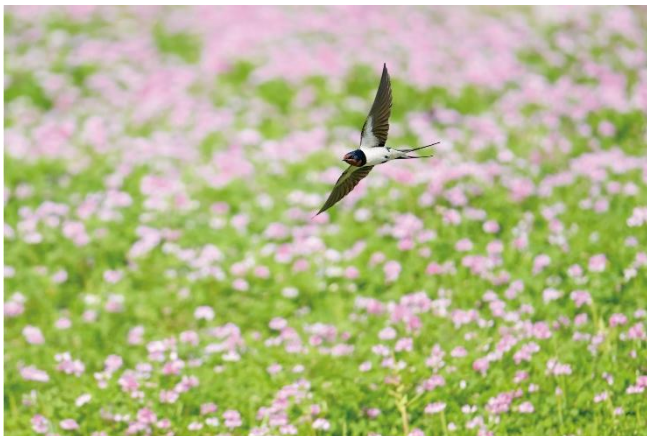
冬に会える「SilverGray」の鷹には、たくさんの Birder が魅了されています。この年は北帰行の頃に咲き揃う、セイヨウカラシナの土手で幾度となく待ちました。夕刻、ねぐらへ帰る前の夢のようなひと時です。

撮 影 * 井坂 瑞

撮影場所 * 群馬県 伊勢崎市

ハイイロチュウヒ

学 名: *Circus cyaneus*
英 名: Hen Harrier



4月

毎年、ツバメの写真を撮っています。国道から少し入ったところにレンゲ畑があり数羽のツバメが飛んでいます。小さな虫を捕っているようです。レンゲ畑の近くの家には巣がありツバメが出たり入ったりしていました。ツバメは高速で飛ぶのでなかなか思うように撮れませんが、なんとか撮影できました。

撮 影 * 孝森 正秀

撮影場所 * 静岡県 焼津市

ツバメ

学 名: *Hirundo rustica*
英 名: Barn swallow



5 月

避暑地の爽やかな風、新緑が美しい5月。早咲きのヤマツツジの枝に目を引く野鳥の姿。キビタキの雄です。実はこの日はコルリを採鳥予定でした。その途中のハプニング。思いがけない嬉しい出逢いとなりました。

撮 影 ＊ 三島 明美
撮影場所 ＊ 栃木県 矢板市

キビタキ

学 名: *Ficedula narcissina*
英 名: Narcissus Flycatcher



6 月

都内の登山道の入り口付近に、登山客の後を追いかけて、逃げようとする人に飛び掛かるこのヤマドリがいました。沢に降りてじっと待つと、餌取りのためにヤマドリが現れて、岩場を超え対岸にジャンプしてくれました。ワンチャンスを捉えることができとてもラッキーでした。

撮 影 ＊ 野口 好博
撮影場所 ＊ 東京都 あきる野市

ヤマドリ

学 名: *Syrnaticus soemmerringii*
英 名: Copper Pheasant



7 月

岩場の間を小さく飛びながら餌を探しているようだった。目立たない羽根色のイワヒバリは見失うこともあったが驚かさないう静かに撮影した。高山植物の上に乗ってくれたのがいっそう良かった。

撮 影 ＊ 矢田 重雄
撮影場所 ＊ 岐阜県 高山市

イワヒバリ

学 名: *Prunella collaris*
英 名: Alpine accentor



8月

この作品は、熊本県阿蘇市にあるダイサギのコロニーです。この作品の頃は、子育ても一段落し、距離は近いけど手前に堤があるためか、安心して近くの枝で身体を休めます。この日は、生憎の薄曇りでしたが、運良くダイサギと周辺の一部に一瞬陽が差し、スポットライト的に照らしてくれました。

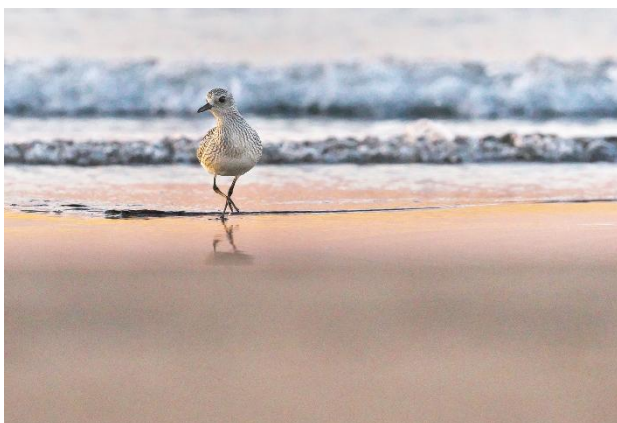
撮影 * 南 康裕

撮影場所 * 熊本県 阿蘇市

ダイサギ

学名: *Ardea alba*

英名: Great Egret



9月

シギ、チドリ類の秋の渡りも終盤を迎えた9月下旬。北海道の浜辺で日没前のやさしい光に包まれてたたずむダイゼン。モデルさんばりの見事なポージングで優しさが倍増したベストなタイミングで撮影できました。

撮影 * 山口 靖弘

撮影場所 * 北海道 小樽市

ダイゼン

学名: *Pluvialis squatarola*

英名: Grey Plover



10月

紅葉が始まり、その周辺には沢山のドングリの実が落ちていて、ミヤマカケスがその実を貯食し始めました。紅葉に染まった楓の木に止まれば、という思いで数日間粘りやっとドングリをくわえたミヤマカケスが枝に止まった、一回のチャンスを運よく撮影する事が出来ました。

撮影 * 内藤 滋

撮影場所 * 北海道 札幌市

ミヤマカケス

学名: *Garrulus glandarius brandtii*

英名: Eurasian Jay



11月

北印旛沼では冬が近づくと、ホオジロの仲間アオジ、カシラダカなどカモ類と合わせて冬鳥として観察出来ます。今回のホオアカは例年通りいつもの場所に出てくれました。ほっぺが白くなく、あまり動き回らないのが好感が持てます。

撮 影 ＊ 坂東 俊輝
撮影場所 ＊ 千葉県 印西市

ホオアカ

学 名: *Emberiza fucata*

英 名: Chestnut-eared Bunting



12月

紅葉狩りの喧騒から少し離れた小さな神社。その静かな境内を飛び回る瑠璃色の小鳥。時折紅葉した木にとまるその愛らしい姿は、まるで紅葉狩りを楽しんでいるかのようでした。「長居はしないから 少しだけ一緒にいさせてね」そう呟いて静かにシャッターを切りました。

撮 影 ＊ 池田 圭数
撮影場所 ＊ 京都府 京都市

ルリビタキ

学 名: *Tarsiger cyanurus*

英 名: Red-flanked Bluetail

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation of Birds

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-54-5 第10 田中ビル 3 階

TEL ◇ 03-5378-5691 FAX ◇ 03-5378-5693

HP ◇ <https://www.jspb.org/>

